

本発表は、大日本印刷株式会社、CHI グループ株式会社の共同発表です。  
重複して配信される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

## News Release

2010年10月吉日  
大日本印刷株式会社  
CHI グループ株式会社

### 大日本印刷 CHI グループ 電子図書館の構築支援サービスを開始 -「紙と電子の書籍」を融合した図書館向けハイブリッド出版ソリューションを提供-

大日本印刷株式会社(以下:DNP)とDNPの子会社であるCHI グループ株式会社(以下:CHI)は共同で、図書館向け電子図書館サービスを、2010年10月より開始します。

本サービスは、DNP グループが推進する、生活者への「本に出会う場を数多く創出」、「読みたい本を多様なメディアで展開」を実現するために、紙の書籍と電子出版コンテンツの双方を提供する“ハイブリッド型出版流通事業”の一環です。今秋に開設する国内初となる最大級のハイブリッド型総合書店とともに、教育・学術市場である公共・大学図書館にハイブリッド出版流通の仕組みを提供するものです。

生活者、学生、研究者など幅広い図書館利用者向けに、これからニーズの拡大が予想される電子書籍を貸出すほか、図書館の保有する郷土資料、貴重書などをインターネット上に公開し、閲覧を可能とします。また、図書館が所蔵している紙の書籍の検索や貸出予約を行うこともできます。CHIの子会社である株式会社図書館流通センター(以下:TRC)と丸善株式会社(以下:丸善)が、公共図書館及び大学図書館に向けてサービスを販売します。

#### 【DNP グループが提供する電子図書館の概要】

本サービスは、電子図書館の構築・運営に必要な機能・システムから、これらの電子図書館で利用できる、出版社の書籍コンテンツのデジタル化、使用許諾、配信までを一括で提供します。TRCの保有する約300万件におよぶ書籍データベース「TRC MARC」と、各図書館が現在運用している紙の書籍の貸出システムと連動して、電子書籍の貸出・閲覧サービスを提供します。具体的には、各図書館での貸出システム上で、読みたい書籍のタイトルや、検索キーワードを入力し、該当する書籍を紙または、電子書籍のどちらかを選択する仕組みです。

また、図書館利用者は、自宅のパソコンからこのサービスを利用することが可能で、各図書館のサイトにアクセスし、会員IDとパスワードを入力するだけで、電子書籍を検索して閲覧することができ、貸出処理を行うことで、紙の書籍と同様に一定期間、特定のタイトルを閲覧することもできます。

#### 【電子図書館3つのサービス】

##### 電子書籍コンテンツの配信・販売

DNPは、電子出版の流通ライセンス事業を行っているグループ会社の株式会社モバイルブック・ジェーピーと協力し、出版社から利用許諾を得た「自然科学」や「人文社会」関連の書籍や「実用書」、教育・学習関連の「練習問題集」など図書館での蔵書が難しい書籍を中心に約5,000タイトルの電子書籍コンテンツを図書館向けに配信・販売します。

今回サービスで運用する電子図書館はPDF、XMLなど、さまざまなフォーマットのコンテンツに対応しています。また、Adobe® Flash®への対応や動画コンテンツの配信も行えます。

コンテンツの違法コピー防止などのセキュリティ対策については、ダウンロードやコピー、印刷の制限など、高度なデジタル著作権管理(DRM: Digital Rights Management)を提供します。

##### デジタルアーカイブの発信

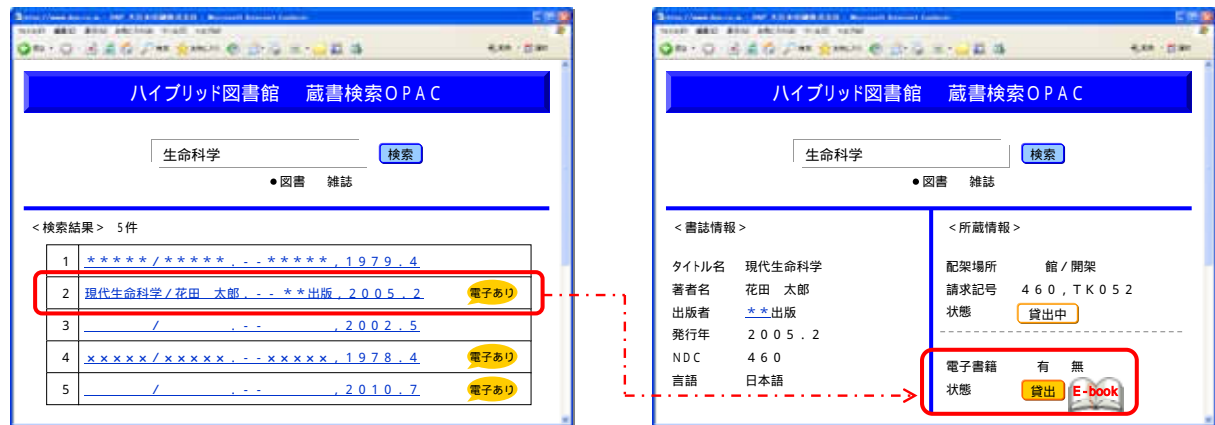
デジタル化ニーズの高い、公共・大学などの各図書館が保有する郷土資料や貴重書、論文、独自コ

レクションなどを、この電子図書館のプラットフォームで公開することも可能です。  
 保有コンテンツのデジタル化支援として、国立国会図書館や公共・大学図書館でのデジタルアーカイブや、データベース化の作業で培ったソリューションを提供します。

### 図書館からの情報発信

図書館発行のブックレットなどの情報冊子などを電子化し、電子図書館上で貸出書籍とあわせて閲覧することもできます。また、これら図書館の情報発信支援として、電子図書館向けコンテンツ制作ツールを提供します。

ハイブリッド型図書館検索画面イメージ図



紙と電子両方の書籍の検索・貸出が可能です

### 【価格】

販売は、主に公共図書館は TRC が、大学図書館は丸善が担当します。

電子図書館サイト構築・運用の ASP サービスの価格は、月額利用料 5 万円 (税抜き) からで、利用者数によって月額利用料は変わります。

電子書籍コンテンツの図書館向け販売方法は、1 タイトルに対して 1 ライセンス与えられる「都度購入方式」とし、従来の紙の書籍を購入する場合と同様に、購入数分の価格を支払い、同時に同数の電子書籍の貸出が可能となります。

### 【今後の取り組み】

今後、出版社などの協力を得ながら、ビジネス系実用書、専門書を中心に、和洋書 10,000 タイトル以上の電子書籍コンテンツを揃える計画で、電子図書館サイトの普及、利用拡大を働きかけていきます。また、コンテンツの販売方法については、「月額固定方式」や、「従量課金方式」なども検討していきます。また、読書専用端末や、iPad®など携帯端末での利用についても 2011 年度に投入する方向で検討していきます。

DNP と CHI は、電子図書館に関連し、5 年後に 500 館へ導入し、20 億円の売上げを目標としています。

- 以 上 -

大日本印刷株式会社	本社: 東京	社長: 北島義俊	資本金: 1,144 億円
CHI グループ株式会社	本社: 東京	社長: 小城武彦	資本金: 30 億円
株式会社図書館流通センター	本社: 東京	社長: 谷一文字	資本金: 2 億 6605 万円
丸善株式会社	本社: 東京	社長: 小城武彦	資本金: 58 億 2,149 万円
株式会社モバイルブック・ジェーピー	本社: 東京	社長: 野村虎之進	資本金: 4 億 9,744 万円

Adobe、Flash は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。

iPad は Apple Inc. の商標または登録商標です。